

海外短信

ところかわれば!

— 中国 —

廣州だより

～ 内山工業㈱ ～



珍しいカタツムリ（実はアフリカマイマイ）を見つめる子供たち

内山工業の中国子会社、廣州内山工業有限公司から海外短信をレポートします。中国・廣州に赴任してから多くのカルチャーショックを受けてきたが、最も驚いたことは生き物の種類の多さとその大きさである。

市場には雷魚やカエル・亀、それにサソリまで様々な生き物が食材として並べられており、毎日の食生活に密着している。

私の子供たちは生き物が大好きで、市場へ行くたびに珍しい生き物を見つけては喜んでいる。また見るだけでは物足りず、様々な生き物を捕まえては楽しんで世話をしている。

先日、市内で珍しいカタツムリを見つけた。殻は巻貝のような形で固く、全長は15センチくらいある大きなものである。子供が育てたいというので早速、捕まえ、持って帰り机の上を歩かせて遊んでいた。

しかし、インターネットで調べて驚いた。なんとアフリカマイマイという外来種で、髄膜炎を引き起こす寄生虫を持っているとのこと。さっきまで触って遊んでいた子供たちは急に青ざめ、すぐに捨てに行き、部屋中を塩素消毒する騒ぎとなった。中国では何でも持ち帰るのは、本当に危険がともなうことを実感した。

そんなこんなで現在うちで飼育しているのは、金魚5匹とクワガタ2匹とその幼虫だけ。危険な生き物も近くにいることを踏まえた上で、これからも子供たちと一緒に色々な生き物を捕まえ、飼っていきたいと思っている。